

交通事故に気をつけましょう

市民課人権・生活係 ☎ 25 1 1 2 6

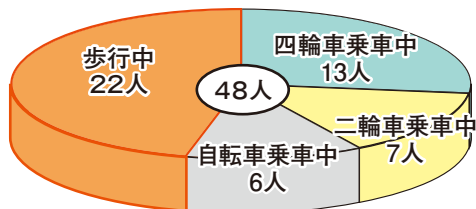
高齢者の交通事故が多発しています

交通事故死亡事故の中でも、高齢者の死亡者数の割合が増加しています。
事故の特徴として、歩行中の事故が最も多く、次いで車の乗車中の事故が多くなっています。

平成24年三重県内 死亡事故発生件数

交通事故による死亡者数 95人
そのうちの高齢者数 48人
(高齢者の割合約50.5%)

平成24年三重県内高齢者死亡事故
類型別発生状況



車を運転する時の注意点

- 交差点では必ず一時停止と安全確認をしましょう
- 全席シートベルトを着用しましょう
- 脇見運転やぼんやり運転をせず、前をよく見て運転しましょう

- 夕暮れ時は早めにライトを点灯しましょう。その時は、ライトは基本は上向きにし、ほかの車と行き違う場合や車の後方を走行する場合においては、下向きにするなど、こまめに切り替えましょう。

歩行中や自転車乗車中の注意点

- 夜間は、反射材をつけましょう
- 遠回りでも、横断歩道や信号機のあるところを横断しましょう
- 道路を横断するときは、左右の確認をしましょう
- 自転車は、車道では左側を通行し、歩道では歩行者優先で車道寄りを徐行しましょう



交通事故防止のま・み・む・め・も

まつ (待つ)

道路を横断する時は、近づいてくる車があれば、通り過ぎるまで待ちましょう

みる (見る)

安全確認は事故防止の基本です。止まって左右の安全を確認しましょう

むりしない (無理しない)

無理な行動は危険です。体調のすぐれないときは、外出を控えましょう

めだつ (目立つ)

歩行者、自転車利用者は、明るい服装に反射材を付け自分の存在を知らせましょう

もしかして

通り慣れた自宅周辺の道でも油断せず、危険予測に心掛けましょう

飲酒運転による事故防止について

飲酒運転による事故が、後を絶ちません。酒に酔った状態で運転した場合には、厳しい罰則があります。飲酒運転は絶対にやめましょう。

また、運転者以外にも車両を提供した者や、酒を提供した者、そして車両に同乗していた者についても、厳しい罰があります。

そこで、代行運転などの利用や、ハンドル・キーパー運動を推進しましょう。



ハンドルキーパー運動について

ハンドルキーパー運動とは、車で仲間と飲食店などへ行った場合に、お酒を飲まない運転手を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

